

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：2019年度第3四半期（2019年10月～12月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：149企業

（製造業：31社 建設業：20社 小売業：39社 サービス業：59社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

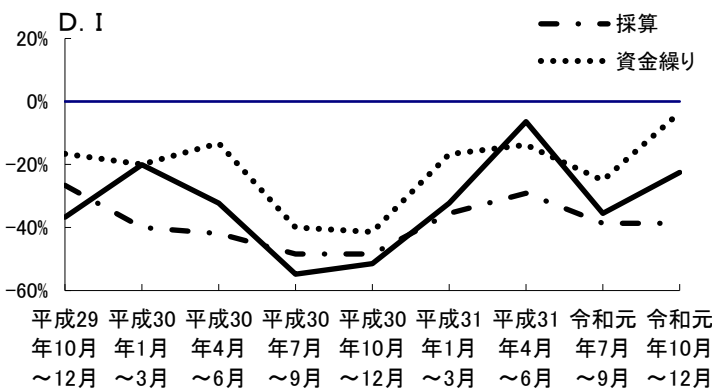
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	平成29年 10～12月期		▲ 20.0		▲ 5.0		▲ 48.9		▲ 32.7		▲ 26.7
平成30年 1～3月期		▲ 43.3		5.0		▲ 58.5		▲ 45.8		▲ 35.7	
平成30年 4～6月期		▲ 43.3		▲ 15.0		▲ 41.0		▲ 8.4		▲ 26.9	
平成30年 7～9月期		▲ 46.7		5.0		▲ 45.0		▲ 16.9		▲ 25.9	
平成30年 10～12月期		▲ 30.0		15.0		▲ 48.6		▲ 16.9		▲ 20.1	
平成31年 1～3月期		▲ 36.7		20.0		▲ 47.5		▲ 28.8		▲ 23.3	
平成31年 4～6月期		▲ 23.4		30.0		▲ 45.0		▲ 12.1		▲ 12.6	
令和元年 7～9月期		▲ 36.7		20.0		▲ 41.0		▲ 15.2		▲ 18.2	
令和元年 10～12月期		▲ 26.7		10.0		▲ 46.2		▲ 25.4		▲ 22.1	
来期見通し 1～3月期		▲ 44.9		5.0		▲ 38.4		▲ 11.8		▲ 22.5	

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



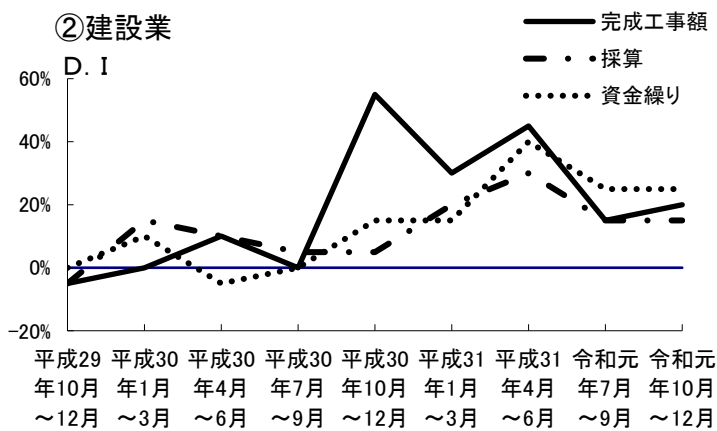
<前期比>

売上額 : 好転 (▲35.5→▲22.5 ポイント)
 採算 : 横ばい (▲38.7→▲38.7 ポイント)
 資金繰り : 好転 (▲25.0→▲3.5 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 生産設備の不足・老朽化、原材料価格の上昇、需要の停滞 (17.9%)
- 2位: 製品(加工)単価の低下・上昇難、従業員の確保難 (10.7%)

②建設業



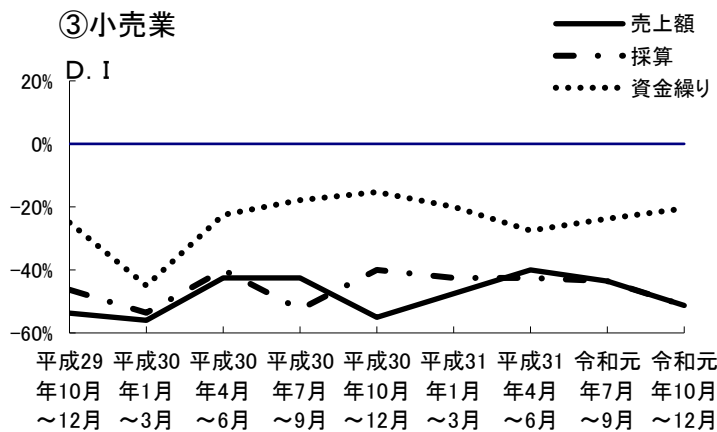
<前期比>

完成工事額 : やや好転 (15.0→20.0 ポイント)
 採算 : 横ばい (15.0→15.0 ポイント)
 資金繰り : 横ばい (25.0→25.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 材料価格の上昇 (26.7%)
- 2位: 官公需要の停滞 (20.0%)

③小売業



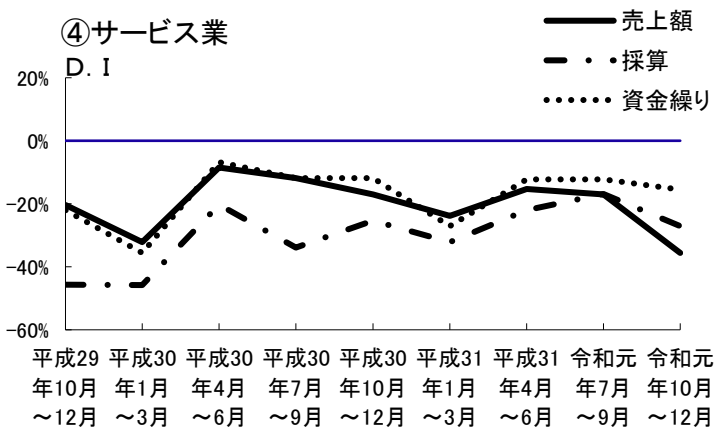
<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲43.6→▲51.3 ポイント)
 採算 : やや悪化 (▲43.6→▲51.3 ポイント)
 資金繰り : やや好転 (▲23.7→▲20.5 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 購買力の他地域への流出、消費者ニーズの変化 (21.1%)
- 2位: 仕入単価の上昇 (18.4%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : 悪化 (▲17.0→▲35.6 ポイント)
 採算 : 悪化 (▲16.9→▲27.1 ポイント)
 資金繰り : やや悪化 (▲12.3→▲15.5 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 材料等仕入単価の上昇、従業員の確保難、需要の停滞 (16.0%)
- 2位: 店舗施設の狭隘・老朽化、利用料金の低下・上昇難 (10.0%)